

EU ー日本学特別講義

「再統一後のドイツ ー 25 周年を経て」

講師：大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館

インゴ・カールステン (Dr. Ingo Karsten) 総領事

日時：11月30日(月) 16:20ー17:50

場所：尚文館1階 マルチメディア AV 大教室

講演要旨

今年10月3日、ドイツ再統一から25周年を迎えました。東西に分かれていたドイツがどのような過程を経て統一に至ったのか、そして統一後、経済的格差だけでなく、精神的な問題についてどのように取り組んできたのかについてお話します。ドイツ統一には近隣諸国との信頼関係も重要な役割を果たしています。同時にドイツ統一はヨーロッパの統合とも深く関わっています。講演ではさらに、ドイツ統一がヨーロッパにどのような影響を与えたのか、また昨今の「欧州連合」(EU)においてドイツの役割が拡大しつつあることなどについても触れます。

講師紹介

1953年生。キール大学で経済学・法学を履修。キール大学経済政策研究で博士号を1984年に取得後、外務省に入省。ボン、ベルリンの本省のほか、東京、ローマ、ワシントン、北京などの大使館で政務部や国際経済政策部門等に勤務。2011年よりバンガロール(インド)総領事。2013年7月より現職。

主催：関西大学 大学院文学研究科副専攻「EUー日本学」